

愛知みずほ大学大学院 2025年度シラバス

健康科学特論

更新日：2025/01/16 18:29:09

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	1A100100	授業コード	
担当教員	松原 達昭						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0001	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	有	関連する履歴	医師				
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果	附属病院を有する医学部や歯学部の教員として学生を指導した経験から、歴史的な医学の発見について詳細にかつ分かりやすく解説できる。						

授業概要

内容	健康科学・医学・医療の著しい発展と食・住環境、労働環境など生活環境の改善は、平均余命の著しい延伸をもたらしました。ただし、この間、生活習慣の偏りによる健康障害が増加し、一方では新興感染症の出現によって、疾病構造は大きく変容しました。健康は疾病の対極として捉えるのではなく、健康と疾病は連続したものであり、生活の質を左右する基盤・条件であると考えられるようになっていきます。本授業を学ぶ目的は、健康長寿社会を担う研究者、専門家、職業人等に対して啓発を図ることにあります。
方法	著書 "Great Discoveries in Medicine" を用いて、医学を変えた歴史的発見について考察します。院生の相互交流を深めるためにも、自由闊達な授業内容にしていきましょう。

履修条件

特にありません。

履修する上の留意点

到達目標

1	健康科学の進展について関連事項をウェブ等で検索し、情報を交換し、理解を深める力が身につく。また、健康科学について関心を高め、意見交換ができるようになる。修士論文の英文アブストラクトを書ける能力が身につく。
---	--

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	自主学習力/授業態度/口頭発表	35/25/40

教科書

参考書

オープンな教育リソース

学生へのメッセージ

「健」に従事する者にとって、自己研鑽ができる魅力的な授業です。

課題に対するフィードバック

授業における発表内容について講師やクラスメートからの意見を聞き、それについて自分の意見を述べる力が評価されます。質疑応答時間では講師も一員となり参加し意見を述べます。

授業計画

	学修計画		
	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	講師から、授業の進行方法についてオリエンテーションを行う。受講生は、話し合いによって、"Great Discoveries in Medicine"で取り上げられている70の発見のstoriesの中から、自分が担当するstoryと、そのstoryの内容についての発表予定日を決める。各回の授業では1名の院生が発表し、1回の授業で1つのstoryについて学んで行くこととする。	受講者は、第3回の授業で取り上げられるstoryを読んで、内容を把握しておく。また、storyの内容についてウェブや文献で調べておき、第3回授業での質疑応答に備える。	A

	なお、第1回目の授業では、講師が発表の見本を示す予定である。		
2	第1回目と同様に、講師が発表の見本を示す予定である。	第3回の授業で取りあげられるstoryを読んで、内容を把握しておく。また、storyの内容についてウェブや文献で調べておく、第3回授業での質疑応答に備える。	A
3	第3回授業の担当学生がstoryの訳と内容を発表する。発表された内容について受講者は意見交換を行う。併せて、疑問点や課題についての検討も行う。	第3回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調べる。疑問点やその他意見を第4回の授業で発表する。	A, D
4	第4回授業の担当学生がstoryの訳と内容を発表する。発表された内容について受講者は意見交換を行う。併せて、疑問点や課題についての検討も行う。	第4回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調べる。疑問点やその他意見を第5回の授業で発表する。	A, D
5	第5回授業の担当学生がstoryの訳と内容を発表する。発表された内容について受講者は意見交換を行う。併せて、疑問点や課題についての検討も行う。	第5回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調べる。疑問点やその他意見を第6回の授業で発表する。	A, D
6	第6回授業の担当学生がstoryの訳と内容を発表する。発表された内容について受講者は意見交換を行う。併せて、疑問点や課題についての検討も行う。	第6回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調べる。疑問点やその他意見を第7回の授業で発表する。	A, D
7	第7回授業の担当学生がstoryの訳と内容を発表する。発表された内容について受講者は意見交換を行う。併せて、疑問点や課題についての検討も行う。	第7回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調べる。疑問点やその他意見を第8回の授業で発表する。	A, D
8	第8回授業の担当学生がstoryの訳と内容を発表する。発表された内容について受講者は意見交換を行う。併せて、疑問点や課題についての検討も行う。	第8回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調べる。疑問点やその他意見を第9回の授業で発表する。	A, D
9	第9回授業の担当学生がstoryの訳と内容を発表する。発表された内容について受講者は意見交換を行う。併せて、疑問点や課題についての検討も行う。	第9回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調べる。疑問点やその他意見を第10回の授業で発表する。	A, D
10	第10回授業の担当学生がstoryの訳と内容を発表する。発表された内容について受講者は意見交換を行う。併せて、疑問点や課題についての検討も行う。	第10回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調べる。疑問点やその他意見を第11回の授業で発表する。	A, D
11	第11回授業の担当学生がstoryの訳と内容を発表する。発表された内容について受講者は意見交換を行う。併せて、疑問点や課題についての検討も行う。	第11回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調べる。疑問点やその他意見を第12回の授業で発表する。	A, D
12	第12回授業の担当学生がstoryの訳と内容を発表する。発表された内容について受講者は意見交換を行う。併せて、疑問点や課題についての検討も行う。	第12回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調べる。疑問点やその他意見を第13回の授業で発表する。	A, D
13	第13回授業の担当学生がstoryの訳と内容を発表する。発表された内容について受講者は意見交換を行う。併せて、疑問点や課題についての検討も行う。	第13回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調べる。疑問点やその他意見を第14回の授業で発表する。	A, D
14	第14回授業の担当学生がstoryの訳と内容を発表する。発表された内容について受講者は意見交換を行う。併せて、疑問点や課題についての検討も行う。	第14回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調べる。疑問点やその他意見を第15回の授業で発表する。	A, D
15	総まとめ	研究活動における大切な点について意見交換をする。	A, D

研究法特論

更新日：2025/01/16 19:41:00

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	1A100400	授業コード	
担当教員	オムニバス：松原 達昭、今澤 正彦、高瀬 慎二、森 千鶴、山根 基、刑部 純平、長岡 由紀子、木戸 盛年						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0032	授業形態		講義,演習		授業時間＋自習時間	30+60
コース別 必修・選択必修 等	必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	有	関連する履歴	医師				
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果	附属病院を有する医学部や歯学部の教員として大学院生を指導した経験を活かし、人を対象とした研究に関わる倫理観等を教示できる。						

授業概要

内容	「健」の領域における研究に関して、研究に必要な事項を学び、研究計画と研究論文作成の基盤とする。
方法	研究方法の種類と概要、研究計画、及び、研究倫理を学ぶ。 また、「養護・保健」「健康スポーツ」「心理・カウンセリング」「医療全般」についてそれぞれの特徴を探究する。

履修条件

特にありません。

履修する上の留意点

到達目標

1	研究する上で遵守すべき倫理事項を述べることができる。
2	研究目的に合った研究論文を検索することができる。
3	「養護・保健」に関する研究の目的と意義が説明できる。
4	「健康スポーツ」に関する研究の目的と意義が説明できる。
5	「心理・カウンセリング」に関する研究の目的と意義が説明できる。
6	「医療」に関する研究の目的と意義が説明できる。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	自主学習力／プレゼンテーション／ディスカッション	15
2	到達目標	自主学習力／プレゼンテーション／ディスカッション	15
3	到達目標	自主学習力／プレゼンテーション／ディスカッション	10
4	到達目標	自主学習力／プレゼンテーション／ディスカッション	20
5	到達目標	自主学習力／プレゼンテーション／ディスカッション	20
6	到達目標	自主学習力／プレゼンテーション／ディスカッション	20

教科書

参考書

オープンな教育リソース

学生へのメッセージ

各自が思い描いている研究テーマに磨きをかけ、内容を充実させ、完成させるための基盤となる授業です。
講師とともに学びましょう。

課題に対するフィードバック

それぞれの授業内でコメントする。

授業計画

	学修計画

	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	オリエンテーション 「健」に関わる領域における研究の意義、研究方法の種類と特徴、研究方法選択の際の留意点 (松原 達昭)	健康について自身の考え方を認識しまとめておく。	A
2	研究活動における倫理と不正防止 (松原 達昭)	研究活動における倫理と不正防止について調べ、研究者としての在り方を考えておく。	A
3	研究活動における倫理と不正防止 (松原 達昭)	「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針ガイダンス」、及び、愛知みずほ大学・愛知みずほ短期大学研究倫理規程に目を通しておく。	A, D
4	文献検索について ①（重要性と検索方法） (高瀬慎二)	予習：自身の研究テーマに関連するキーワードをまとめておく。 復習：自身の研究テーマに関連する先行研究を調査しておく。	D
5	文献検索について ②（文献の引用方法） (高瀬慎二)	予習：自身の研究テーマに関連する先行研究をまとめておく。 復習：関連する学術分野の様式にならって文献引用の体裁を整える。	D
6	養護・保健に関する研究について (森 千鶴)	予習：自身の研究テーマに関連する先行研究を調べてまとめておく。 復習：学修した内容について振り返り、まとめる。	A, B
7	スポーツ現場に活用される研究について (山根 基・刑部 純平)	予習：スポーツ科学（運動生理学など）に関する知識を事前に調べる。 復習：スポーツ現場に活用される研究例について調べ、まとめる。	A, B
8	健康づくりのための運動に関する研究について (山根 基・刑部 純平)	予習：健康づくりのための運動の効果に関する知識を事前に調べる。 復習：健康づくりのための運動に関する研究例について調べ、まとめる。	A, B
9	心理学関連領域の研究の特徴 (長岡 由紀子)	予習：事前に配布した資料を読み、心理領域で関心のある分野について記述してくること。 復習：本日の内容のポイントを400字でまとめること。	A, B
10	心理調査法研究について ・質問紙調査法とは ・質問紙調査法に用いる統計 (木戸 盛年)	予習：自分の研究テーマに関係する調査票（アンケート用紙）を用いた研究論文（少なくとも1本）を探してきて、方法の内容をまとめてくる。	A
11	インタビュー調査、事例研究について (長岡 由紀子)	予習：会話の記録を取っておくこと。 復習：本日の内容のポイントを400字でまとめること。	A
12	医療にかかわる研究について ① (松原 達昭・今澤 正彦)	受講者の目指す研究テーマに隣接する医学関連論文について事前に調べ、当日受講者、講師間で議論を行う。	A
13	医療にかかわる研究について ② (松原 達昭・今澤 正彦)	受講者の目指す研究テーマに隣接する医学関連論文について事前に調べ、当日受講者、講師間で議論を行う。	A
14	医療にかかわる研究について ③ (松原 達昭・今澤 正彦)	受講者の目指す研究テーマに隣接する医学関連論文について事前に調べ、当日受講者、講師間で議論を行う。	A
15	まとめ (松原 達昭)	各自の研究における現時点での進捗状況についてプレゼンテーションを行い、受講者、講師間で議論する。	A, D

社会調査法特論

更新日：2025/01/23 09:32:52

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	1A100500	授業コード	
担当教員	高瀬 慎二						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0033	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	本授業では，社会調査の意義，背景と方法に関わる基本的知識を学ぶ。講義の前半では模擬的な調査を実施し、後半では実際に受講生が研究計画を立て、調査の実施、結果の分析・解釈、調査結果の報告を行う。
方法	講義はスライドや配布資料を用いて行う。

履修条件

特になし

履修する上の留意点

到達目標

1	調査研究の基本的な手続きを理解し、実施することができる。
2	データ解析の基礎について理解し、分析を実施できる。
3	調査結果を言葉、図表を用いて発表し、説明することができる。
4	調査結果に基づきレポートを作成できる。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	受講態度、レポート、成果物	25
2	到達目標	受講態度、レポート、成果物	25
3	到達目標	受講態度、レポート、成果物	25
4	到達目標	受講態度、レポート、成果物	25

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	使用しない		

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	はじめての社会調査	世界思想社	三井さよ・三谷はるよ・西川知亨・工藤保則
2	社会調査法入門	有斐閣ブックス	盛山和夫

オープンな教育リソース

学生へのメッセージ

課題に対するフィードバック

授業中に適宜に行う

授業計画

	学修計画
--	------

	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	社会調査の目的	予習：シラバスを確認する 復習：講義の課題に取り組む	A
2	社会調査の意義	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	A
3	量的調査と質的調査	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	A
4	二次分析の基礎	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	A
5	観察調査の手法	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	A
6	観察調査の分析方法	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	A, B
7	質問紙調査の手法	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	A
8	質問紙調査の分析方法	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	A
9	質問紙、尺度の構成と研究倫理と倫理的配慮	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	A
10	調査の実施① 問題の設定	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	A, B
11	調査の実施② 仮説の構築と調査方法の決定	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	A, B
12	調査の実施③ 実査	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	A
13	調査の実施④ データの分析、結果の解釈	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	A
14	調査の実施⑤ 結果報告書（レポート）の作成	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	A
15	調査結果の発表	予習：配布資料を確認する 復習：講義の課題に取り組む	B

健康管理学特論

更新日：2025/01/23 18:48:02

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	1B100110	授業コード	
担当教員	松原 達昭						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0035	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	有	関連する履歴	医師				
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果	附属病院を有する医学部や歯学部の教員として学生を指導した経験から、各種疾病（生活習慣病、感染症等）、遺伝、老化等について詳細にかつ分かりやすく解説できる。						

授業概要

内容	疾病の知識・病態を理解する基礎となる科目として、疾病の成り立ちを理解し、重要な疾患の病変・病態、治療、並びに予防について学びます。
方法	疾病の成り立ちを理解し、如何なる治療法や予防法があるのかを調べ、考えてください。 疾病の実例の示説を通して疾病の理解と考察能力を身につけ、健康管理や、福祉に携わる専門家等、健康社会に貢献する人々の素養の一部となることを期待します。

履修条件

特にありません。

履修する上の留意点

到達目標

1	病気の成り立ち、疾病の分類、要因についての理解。
2	生活習慣病（糖尿病、高血圧症、脂質異常症）等の徴候、治療、予防等についての理解。
3	遺伝子、遺伝性疾患についての理解。
4	メンタルヘルスについての理解。
5	感染症、腫瘍の発症機序、病態、治療、予防等についての理解。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	討論の質（内容、理解度、参加態度）	10
2	到達目標	討論の質（内容、理解度、参加態度）	40
3	到達目標	討論の質（内容、理解度、参加態度）	10
4	到達目標	討論の質（内容、理解度、参加態度）	10
5	到達目標	討論の質（内容、理解度、参加態度）	30

教科書

参考書

オープンな教育リソース

学生へのメッセージ

本授業を通して、各自の研究課題を掘り下げてください。

課題に対するフィードバック

質疑応答時間を設定し、学生が主体となり講師も参加して対話的に学び、討論することとします。
疾病や異常状態と日常生活や社会との関連性についても考え、健康管理の基礎知識や実践の重要さの理解に努めます。

授業計画

	学修計画		
	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法

1	オリエンテーション ＊学生の自己紹介と「研究主題」についての説明	各自の研究課題についてクラスで発表する準備と、授業内容について希望があればまとめてくる。 健康とはどんな状態か、疾病とどのような関係になるのか、考えておくこと。	A, D
2	病気の成り立ち 疾病の分類 内因と外因	病気の成り立ちについて調べておく。	A
3	糖尿病 糖尿病とインスリン 糖尿病の慢性合併症 糖尿病の治療法	糖尿病について調べておく。	A
4	高血圧 血圧とは 脳心血管病への影響 治療法（降圧薬）	高血圧について調べておく。	A
5	脂質異常症 脂質異常症診断基準 脂質異常症の薬物療法	脂質異常症について調べておく。	A
6	慢性腎臓病 診断、重症度評価、治療	慢性腎臓病について調べておく。	A
7	高尿酸血症 分類、痛風関節炎、尿路結石、 治療	高尿酸血症について調べておく。	A
8	感染と感染症 新興感染症（新型コロナウイルス 感染症など） 感染症に対する防御能（ワクチン など） 感染症に対する予防措置	感染症について調べておく。	A
9	腫瘍 日本人の死因 悪性腫瘍と良性腫瘍 癌のリスク要因	腫瘍について調べておく。	A
10	老化 加齢と老化 老化に伴う疾患	老化について調べておく。	A
11	メンタルヘルス 依存症、統合失調症、うつ病、 双極性障害、強迫性障害、PTSD、 パニック障害、摂食障害、 発達障害など	メンタルヘルスについて調べておく。	A
12	遺伝 遺伝子 遺伝性疾患	遺伝について調べておく。	A
13	各自の研究課題についてクラスで発表する。発表内容について、受講者、講師を交えて意見交換を行う。	これまでに学んだことを参考にして、各自の研究課題を掘り下げる。	A, D
14	各自の研究課題についてクラスで発表する。発表内容について、受講者、講師を交えて意見交換を行う。	これまでに学んだことを参考にして、各自の研究課題を掘り下げる。	A, D
15	各自の研究課題についてクラスで発表する。発表内容について、受講者、講師を交えて意見交換を行う。	これまでに学んだことを参考にして、各自の研究課題を掘り下げる。	A, D

公衆衛生学特論

更新日：2025/02/21 18:23:50

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	1B100400	授業コード	
担当教員	今澤 正彦						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0006	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	社会における変化（移民の増加、地球環境の変化、自然災害の増加など）、経済面での変化（経済的な格差の拡大、雇用のオートメーション化など）、個人レベルでの変化（家族の形態の変化、肥満・自殺の増加など）がトレンドとなり、VUCA (volatile, uncertain, complex, ambiguous)な時代に立ち入りつつあります。この先、我々の健康・保健や医療、厚生はどこへどう向かうのか、インターネットの発達で身近になったグローバルな広い視野を通すと、地球規模の情報にも無関心ではられません。この授業を学ぶ目的は、グローバルな視野で「健」を考える習慣を身に付けることにあります。						
方法	世界保健機関（World Health Organization：WHO）のほか、アメリカ疾病予防管理センター（Centers for Disease Control and Prevention：CDC）、アメリカ国立衛生研究所（National Institutes of Health：NIH）、欧州疾病予防管理センター（European Centre for Disease Prevention and Control：ECDC）などがウェブ上で公式発信するホットなニュース（英語）を題材に、予め指名された発信者役の受講者と取材者役の受講者とが中心になってニュースの内容を日本語で検討・吟味し合います。他の受講者もニュースの受け手として検討に加われることが期待されます。医学上の補足などを教員が適宜コメントします。 第1回の授業ではこの講義のオリエンテーションを行うほかは、毎回の授業で、次回の題材（ニュース英文）を指定するとともに担当の受講者（発信者役・取材者役）を決めておき、次回の授業で検討・吟味を行います。						

履修条件

ジャーナルクラブ形式（抄読会、輪講とも呼ばれることがあります）のグループワークになるので、同時に複数名で受講することが望ましい。

履修する上の留意点

英語を英語のまま読めることは前提ですので、単なる機械的な英文和訳の授業では決してありません。
ジャーナルクラブ形式のグループワークとして、発表者役も取材者役も、各回の題材と関連事項についてのじゅうぶんな自主的・能動的な学習（下準備）が必要です。特に発表者役にはその場で取材者役らから投げかけられる質問等にも耐え得るプレゼンテーション力も求められます。

到達目標

1	学術論文とは異なり一般社会に向けた内容から英文に抵抗なく接することができる。
2	限られた時間で情報を読み解き、単純・機械的な英文和訳ではなく自分の言葉（日本語）で説明できる。
3	それぞれの立場から情報を批判的にも吟味することを通して、広い視野や多様な角度から健康・保健を考えることができる。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	自主学習力・授業態度・発表力	30
2	到達目標	自主学習力・授業態度・発表力	30
3	到達目標	自主学習力・授業態度・発表力	40

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	特になし		

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	特になし		

オープンな教育リソース

World Health Organization (WHO) <https://www.who.int/>
Centers for Disease Control and Prevention (CDC) <https://www.cdc.gov/>

National Institutes of Health (NIH) <https://www.nih.gov/>European Centre for Disease Prevention and Control (ECDC) <https://www.ecdc.europa.eu/en>

その他については、講義の中で逐次紹介します。

学生へのメッセージ

「健」を広い視野や多様な角度から見つめ換える可能性が期待できます。

課題に対するフィードバック

自分の言葉で述べること、答えることのできる理解度が評価されます。

授業計画

	学修計画		
	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	オリエンテーション ＊教員が、授業の進行方法（特にジャーナルクラブ形式のグループワークなど）についてオリエンテーションを行い、次の題材とする時事のホットなニュース（英語）を指定する。次の発信者役・取材者役を決める。	次回に向けて指定されたニュース（英語）を読んで、内容を把握しておく。特に発信者役・取材者役は、関連情報をウェブや文献で調べておく。	
2	ジャーナルクラブ形式のグループワーク ＊今回の発信者役が予め指定されたニュース（英語）を、調べてきた関連情報も適宜交えながら、日本語で発表・解説する。一方で取材者役が、発信者役の発表・解説内容について、受け手に伝えるために、適宜質問を加えながら検討する。他の受講者もニュースの受け手としては日々非々で検討に加わることが望ましい。それまでに見えてきた疑問点などから必要に応じて教員がレポートを課す場合もある。 ＊教員が、次の題材とする時事のホットなニュース（英語）を指定する。次の発信者役・取材者役を決める。	今回までの授業内容について考察し、レポートを課された場合にはその考察内容を記述して、教員に提出する。 次回に向けて指定されたニュース（英語）を読んで、内容を把握しておく。特に発信者役・取材者役は、関連情報をウェブや文献で調べておく。	B
3	ジャーナルクラブ形式のグループワーク ＊今回の発信者役が予め指定されたニュース（英語）を、調べてきた関連情報も適宜交えながら、日本語で発表・解説する。一方で取材者役が、発信者役の発表・解説内容について、受け手に伝えるために、適宜質問を加えながら検討する。他の受講者もニュースの受け手としては日々非々で検討に加わることが望ましい。それまでに見えてきた疑問点などから必要に応じて教員がレポートを課す場合もある。 ＊教員が、次の題材とする時事のホットなニュース（英語）を指定する。次の発信者役・取材者役を決める。	今回までの授業内容について考察し、レポートを課された場合にはその考察内容を記述して、教員に提出する。 次回に向けて指定されたニュース（英語）を読んで、内容を把握しておく。特に発信者役・取材者役は、関連情報をウェブや文献で調べておく。	B
4	ジャーナルクラブ形式のグループワーク ＊今回の発信者役が予め指定されたニュース（英語）を、調べてきた関連情報も適宜交えながら、日本語で発表・解説する。一方で取材者役が、発信者役の発表・解説内容について、受け手に伝えるために、適宜質問を加えながら検討する。他の受講者もニュースの受け手としては日々非々で検討に加わることが望ましい。それまでに見えてきた疑問点などから必要に応じて教員がレポートを課す場合もある。 ＊教員が、次の題材とする時事のホットなニュース（英語）を指定する。次の発信者役・取材者役を決める。	今回までの授業内容について考察し、レポートを課された場合にはその考察内容を記述して、教員に提出する。 次回に向けて指定されたニュース（英語）を読んで、内容を把握しておく。特に発信者役・取材者役は、関連情報をウェブや文献で調べておく。	B
5	ジャーナルクラブ形式のグループワーク ＊今回の発信者役が予め指定されたニュース（英語）を、調べてきた関連情報も適宜交えながら、日本語で発表・解説する。一方で取材者役が、発信者役の発表・解説内容について、受け手に伝えるために、適宜質問を加えながら検討する。他の受講者もニュースの受け手としては日々非々で検討に加わることが望ましい。それまでに見えてきた疑問点などから必要に応じて教員がレポートを課す場合もある。 ＊教員が、次の題材とする時事のホットなニュース（英語）を指定する。次の発信者役・取材者役を決める。	今回までの授業内容について考察し、レポートを課された場合にはその考察内容を記述して、教員に提出する。 次回に向けて指定されたニュース（英語）を読んで、内容を把握しておく。特に発信者役・取材者役は、関連情報をウェブや文献で調べておく。	B
6	ジャーナルクラブ形式のグループワーク ＊今回の発信者役が予め指定されたニュース（英語）を、調べてきた関連情報も適宜交えながら、日本語で発表・解説する。一方で取材者役が、発信者役の発表・解説内容について、受け手に伝えるために、適宜質問を加えながら検討する。他の受講者もニュースの受け手としては日々非々で検討に加わることが望ましい。それまでに見えてきた疑問点などから必要に応じて教員がレポートを課す場合もある。 ＊教員が、次の題材とする時事のホットなニュース（英語）を指定する。次の発信者役・取材者役を決める。	今回までの授業内容について考察し、レポートを課された場合にはその考察内容を記述して、教員に提出する。 次回に向けて指定されたニュース（英語）を読んで、内容を把握しておく。特に発信者役・取材者役は、関連情報をウェブや文献で調べておく。	B
7	ジャーナルクラブ形式のグループワーク ＊今回の発信者役が予め指定されたニュース（英語）を、調	今回までの授業内容について考察し、レポートを課された場合にはその考察内容を記述して、教員に提出する。	B

[illegible]

	て、受け手に伝えるために、適宜質問を加えながら検討する。他の受講者もニュースの受け手として是々非々で検討に加わることが望ましい。それまでに見えてきた疑問点などから必要に応じて教員がレポートを課す場合もある。 ＊都合により、教員が、次回の題材とする時事のホットなニュース（英語）を指定する場合がある。次回の発信者役・取材者役を決める場合がある。	れを読んで、内容を把握しておく。特に発信者役・取材者役は、関連情報をウェブや文献で調べておく。	
15	総まとめ ＊都合により、ジャーナルクラブ形式のグループワークを追加して行う場合がある。	全体の授業内容について考察し、レポートを課された場合にはその考察内容を記述して、教員に提出する。	

運動生理学特論

更新日：2025/01/14 10:37:06

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	1B100700	授業コード	
担当教員	山根 基						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0007	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	健康維持や体力増進のために運動の果たす役割は大きく、その生理を理解することは重要である。ここでは、運動に関係する身体の構造、機能や能力など、身体運動に関わる人体生理について学び、それらについての測定法や研究手法について検討するとともに、健康や体力を具体的にどうとらえるかを模索する。
方法	配布プリントと板書およびパワーポイントを使い授業を行う。また受講生が事前課題をまとめた内容を発表（パワーポイント等）し、討論を行う。

履修条件

なし

履修する上の留意点

なし

到達目標

1	①運動時の人体の生理機能について学修し、健康や体力を維持・増進するための対策について検討することができる。
2	②測定やその処理、結果の解釈といった過程を学び、科学的かつ理論的な考え方や物事の進め方等を身につけることができる。
3	③健康増進における運動の役割について異なる様々な研究分野から捉えることができる。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	レポート	40
2	到達目標	レポート	30
3	到達目標	プレゼンテーション	30

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	特定の教科書は指定しない。		

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	『イラスト運動生理学』	東京教学社	朝山正巳・彼末一之・三木健寿編著
2	『医学的研究のデザイン-研究の質を高める疫学的アプローチ- 第3版』	メディカルサイエンスインターナショナル	木原雅子・木原正博

オープンな教育リソース

学生へのメッセージ

運動生理学の専門的な知識修得に関わらず、健康や体力、研究活動等について幅広く意見交換を行えることを期待しています。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートの内容を評価し、フィードバックを行う。
毎回の授業冒頭において、前回授業内容の振り返りを行い、学生の理解度を確認してから次の授業内容を進める。

授業計画

	学修計画		
	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	オリエンテーション	自分の研究テーマ、内容を簡単にまとめて発表する。	
2	健康と体力の関わりについて	健康と体力の捉え方について自分の考えをまとめて発表する。	A
3	骨格筋の働きについて	骨格筋の働きについて参考書や文献などを読んでまとめて発表する。	A
4	筋活動の特徴について	筋の適応について参考書や文献などを読んでまとめて発表する。	A
5	筋活動に伴うエネルギー供給について	筋活動に伴うエネルギー供給について参考書や文献などを読んでまとめて発表する。	A
6	身体活動と栄養（たんぱく質、糖質、脂質）について	身体活動と栄養（たんぱく質、糖質、脂質）について参考書などを読んでまとめて発表する。	A
7	運動と呼吸・循環機能について	運動と呼吸・循環機能について参考書や文献などを読んでまとめて発表する。	A
8	酸素摂取量とエネルギー代謝について	有酸素運動および無酸素運動の特徴について参考書や文献を読んでまとめて発表する。	A
9	研究計画（テーマの設定）について	研究計画（テーマの設定）について参考資料などを読んでまとめて発表する。	A
10	研究計画（対象者の定義とサンプリング）について	研究計画（対象者の定義とサンプリング）について参考資料などを読んでまとめて発表する。	A
11	研究計画（測定方法の定度と真度）について	研究計画（測定方法の定度と真度）について参考資料などを読んでまとめて発表する。また自らの研究計画についても検討し、計画書をレポートとして提出する。	A
12	身体活動量の評価（行動記録法、思い出し法、歩数計法、心拍数法）	身体活動量の測定課題を事前に行い、提出する。	A
13	健康、体力、運動などに関して各自の専門分野に関連したテーマを設定し、文献調査などを基に発表を行う①	健康、体力、運動などに関するテーマを各自設定し、文献調査などを基に発表資料をまとめる。	A
14	健康、体力、運動などに関して各自の専門分野に関連したテーマを設定し、文献調査などを基に発表を行う②	健康、体力、運動などに関するテーマを各自設定し、文献調査などを基に発表資料をまとめる。	A
15	まとめ	各受講者の発表に対して各自の意見などをまとめる。	A
16	レポート提出	身体活動量の評価に関するレポートを作成し、提出する。	

薬理学特論

更新日：2025/02/25 15:48:11

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	1B100810	授業コード	
担当教員	近藤 一直						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	火曜／6限	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0036	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	まず、人における健康状態と病的状態の違いを理解してもらう。そして薬がどのようにして病的状態の改善に役立つのかを学ぶ。また、しばしば薬が有害作用を有すること、そして、その有害作用があるにもかかわらず薬を用いなければならない時とはどのような時なのかを考える。この講義で学ぶことによって、薬や薬を取り巻く社会のいろいろな問題について積極的に考え、意見を持てるようになってもらいたい。
方法	講師はまず基本事項を講義するが、必要に応じて意見の交換やディスカッションを行う。また、薬への興味を持ってもらえるように、人と薬との出会いの歴史についても触れる予定。

履修条件

なし

履修する上の留意点

薬理学を学ぶ上では、解剖学や生理学、さらに疾患の病因、病態について積極的に学んでいただく意欲を発揮されることを期待する。

到達目標

1	100%安全な薬は無いことを説明できる。
2	薬の効果の出方は人によって異なることを説明できる。
3	授業で取り上げた主要疾患の病態と治療薬の作用機序を説明できる
4	代表的な薬の有害作用や薬物相互作用を説明できる。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	授業での態度、自主学習態度および口頭発表	25
2	到達目標	授業での態度、自主学習態度および口頭発表	25
3	到達目標	授業での態度、自主学習態度および口頭発表	25
4	到達目標	授業での態度、自主学習態度および口頭発表	25

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	シンプル薬理学（改訂第6版）	南江堂	野村隆英・石川直久・梅村和夫 編

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	NEW薬理学（改訂第8版）	南江堂	田中千賀子/加藤隆一/成宮周 編
2	薬の基本とはたらきがわかる薬理学	羊土社	柳田俊彦編

オープンな教育リソース

学生へのメッセージ

大学院には多職種の社会人が院生として集まる。各人の現場での経験や知識をお互いに積極的に発表してもらうことが教室では貴重な学びとなる。

課題に対するフィードバック

質疑応答、ディスカッション時間を設け、講師も一員となり参加し意見を述べる。

授業計画

	学修計画		
	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	薬理学概論： 薬物の作用標的分子を中心に、薬物動態および薬力学の概念を理解する。	第1回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第2回の授業で発表する。	
2	薬物動態—吸収分布： 薬物動態の基本をなすADMEのうち、吸収相および分布相を理解する。	第2回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第3回の授業で発表する。	
3	薬物動態—代謝排泄： 薬物動態の基本をなすADMEのうち、代謝相および排泄相を理解する。	第3回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第4回の授業で発表する。	
4	薬物動態—薬物相互作用： 複数の薬物が使われることによる、薬物動態の複雑系を理解する。	第4回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第5回の授業で発表する。	
5	薬物動態—蓄積： 同一薬物の連用が原因で発生する、薬物動態の複雑系を理解する。	第5回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第6回の授業で発表する。	
6	薬物動態—初回通過効果： 投与経路が原因で発生する、薬物動態の複雑系を理解する。	第6回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第7回の授業で発表する。	
7	薬力学—作用標的分子： 薬力学の要となる「薬の効き処」を科学的に理解する。	第7回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第8回の授業で発表する。	
8	薬力学—受容体刺激： 受容体—細胞内情報伝達系を介する薬の作用機序を理解する。	第8回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第9回の授業で発表する。	
9	薬力学—受容体遮断： 受容体遮断による薬の効果とその機序を理解する。	第9回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第10回の授業で発表する。	
10	薬力学—酵素・イオン： 酵素およびイオンの流れに対して効く薬を理解する。	第10回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第11回の授業で発表する。	
11	自律神経作用薬： 交感神経・副交感神経に作用する薬を理解する。	第11回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第12回の授業で発表する。	
12	循環系作用薬： 降圧薬・強心薬および不整脈・虚血性心疾患の治療薬を理解する。	第12回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第13回の授業で発表する。	
13	中枢神経作用薬： 中枢神経に対する刺激薬・抑制薬・調整薬を理解する。	第13回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第14回の授業で発表する。	
14	抗菌薬： 化学療法としての抗菌薬を理解する。	第14回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。疑問点やその他意見を第15回の授業で発表する。	
15	抗腫瘍薬： 化学療法としての悪性腫瘍治療薬を理解する。	第15回授業内容について考察し、問題点をウェブや参考書などで調査する。	

生化学特論

更新日：2025/01/14 10:37:08

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	1B100910	授業コード	
担当教員	原田 信広						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0037	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病や悪性腫瘍など多くの疾病は生命活動に必要な代謝経路を担う酵素の質的及び量的な異常に起因する。そこで先ず酵素の構造や機能について今までの理解を再確認しつつ、栄養素からの生体エネルギー変換に関わる代謝経路を中心に律速酵素の概念、そしてその調節機構及び酵素異常が引き起こす病態について学修する。色々な代謝経路の提示はするが、目的はあくまで健康的な生活を送るための基盤となる生命活動の基礎的理解、そして代謝異常に起因する疾病の病態を理解するための助けとして活用して欲しい。
方法	授業に先立って配るプリントを参考にしながら板書及びパワーポイントを用いて講義を行う。大事なポイントや疑問点などについては随時グループディスカッションを行う。最終的な評価はレポート内容より理解度を推し計ることにより行う。提出されたレポートは添削、コメントを付して返還する。

履修条件

特になし

履修する上の留意点

特になし

到達目標

1	エネルギー代謝を中心とした代謝経路を説明できる。
2	酵素の質的、量的異常により各種疾病が発症する事を例をあげて説明できる。
3	授業に積極的に参加し、質疑応答出来る。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	レポート内容	20
2	到達目標	レポート内容	40
3	到達目標	授業・討論中の発言および質疑応答	40

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	特になし		

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	イラストレイテッド ハーパー・生化学 原著30版	丸善株式会社	ハーパー著（清水孝雄他翻訳）

オープンな教育リソース

なし

学生へのメッセージ

昨今の「健康志向ブーム」によってTV・新聞・雑誌などのマスメディアでは種々の健康食・サプリメントなどが広告されているが、生化学的知識で考察すれば疑問符がつくようなものも少なくない。先ず導入として大学学部で習う生化学の内容をかみ砕いて概説しますので、この講義を通してそうした疑問点・問題点などが把握出来るようになることを期待している。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートに対しては、添削およびコメントを付して返却し、より深い正確な理解が得られるように配慮する。必要に応じて授業での解説も行う。

授業計画

	学修計画		
	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	酵素の構造と特徴 構成アミノ酸と立体構造 補酵素の重要性	アミノ酸変異が立体構造に与える影響と誘発される疾患を理解する。 ビタミン欠乏症の病態を理解する。	
2	酵素反応の調節 アロステリック調節とリン酸化調節	最終産物による代謝経路の制御を理解する。 癌などで細胞内シグナル伝達系の異常がリン酸化異常に起因する事を理解する。	
3	代謝経路と酵素 代謝反応における律速酵素の重要性	治療薬の標的として何故、律速酵素が重要なのかを理解する。	
4	栄養素の消化・吸収	何故、消化する必要があるのかを理解する。 水溶性と脂溶性との特性の差を理解する。 吸収障害に起因する疾患を理解する。	A, B
5	糖代謝 解糖系の位置づけ 共通エネルギー源としてのATP	糖原病の病態を理解する。 解糖系酵素欠損の病態を理解する。	A, B
6	糖代謝 TCA回路による還元力の引き出し	ピルビン酸合成酵素の代謝上の重要性和欠損症の病態を理解する。 糖、タンパク質、脂質代謝の分岐点としてのハブ機能を理解する。	A, B
7	ミトコンドリアの電子伝達系 還元力をATP生成に変換	ミトコンドリア病を理解する。 一酸化炭素や硫化水素中毒の病態を理解する。	B
8	糖代謝から分枝する代謝経路 グリコーゲン合成、ペントースリン酸経路、ウロン酸経路	糖原病を理解する。 ペントース尿症やソラマメ中毒の病態を理解する。	
9	脂質代謝 脂質の合成と分解 リポタンパク質の役割	高度不飽和脂肪酸の重要性を理解する。 脂質異常症の病態を理解する。	
10	脂質代謝 エイコサノイドとコレステロール及びステロイド生成 コレステロールの分解調節	ステロイド合成異常症を理解する。 胆汁酸の腸肝循環を理解する。	A, B
11	生体エネルギー源としての血糖及びケトン体レベル 糖尿病の成因と治療法	空腹・飢餓時の生体エネルギー源の変移を理解する。 糖尿病治療薬の作用点を理解する。 血糖レベルとケトン体の関係を理解する。	A, B
12	アミノ酸の合成と分解 尿素回路	高アンモニア血症の成因を理解する。	
13	核酸代謝 ヌクレオチドの合成と分解 DNA解析技術	レッシュナイハン症候群、SCID、痛風などの成因を理解する。 DNAシーケンサーやPCRの原理と応用を理解する。	A, B
14	高血圧の臨床生化学	レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系を理解する。 生理活性ペプチドの役割を理解する。	A, B
15	神経変性疾患の臨床生化学	神経伝達物質の合成と分解を理解する。 神経変性疾患の病因と病態を理解する。	A, B

健康スポーツ科学特論

更新日：2025/01/18 08:55:12

開講年度	2025	学期	前期, 後期	科目コード	1B201700	授業コード	
担当教員	刑部 純平						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0038	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	健康・スポーツ科学に関連する幅広い分野（トレーニング科学、スポーツ医学、栄養学など）の最新の研究論文を精読し、自身の研究活動及び研究成果発表（学会や修了試験などでの口頭発表）へ活かすことを目的とする。 また、研究によって得られた知見をどのようにフィットネス・スポーツ現場で応用するのか議論することで、研究者からの視点だけでなく臨床家としての視点から研究を理解するスキルを養うことを目的とする。		
方法	本授業では、原著論文・総説論文の精読、スライド資料を用いた口頭発表を実施する。また、研究論文に対する質疑応答などのディスカッションを行う。		

履修条件

特になし。

履修する上の留意点

自身の研究成果を国内外での学会で発表することを目指していることが望ましい。

到達目標

1	研究の種類・手法を理解し、自身の研究活動に活かすことができる。
2	学会発表を想定し、スライド資料の作成・口頭発表ができる。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	授業態度（ディスカッション）	50
2	到達目標	プレゼンテーション	50

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	特になし		

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	特になし		

オープンな教育リソース

学生へのメッセージ

健康・スポーツ科学の分野は多岐にわたります。幅広い分野の知見に触れ、自身の研究者としてのスキルをブラッシュアップしていきましょう。
担当教員がこれまでに実施してきた研究活動は、以下のリンクから確認してください。
<https://josakabelab2023.my.canva.site/>

課題に対するフィードバック

授業内でクラスメート、講師とディスカッションをします。

授業計画

	学修計画

	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	オリエンテーション	第1回目は、授業の進め方について確認する。	
2	健康・スポーツ科学の分野の研究紹介①（研究の種類）	予習・復習：健康・スポーツ科学の分野の研究の種類について調べてくる。また、資料を用いて復習する。	B
3	健康・スポーツ科学の分野の研究紹介②（統計学）	予習・復習：健康・スポーツ科学の分野の研究の統計学について調べてくる。また、資料を用いて復習する。	B
4	原著論文の読み方 ※講師が読み方の解説をします	予習・復習：第5回で使用する研究論文を精読しておく。	B
5	研究論文精読①（原著論文）	予習・復習：第6回で使用する研究論文を精読しておく。	B
6	研究論文精読②（原著論文）	予習・復習：第7回で使用する研究論文を精読しておく。	B
7	研究論文精読③（原著論文）	予習・復習：第8回で使用する研究論文を精読しておく。	B
8	研究論文精読④（原著論文）	予習・復習：第9回で使用する研究論文を精読しておく。	B
9	研究論文精読⑤（原著論文）	予習・復習：第5、6、7、8、9回で使用した研究論文を再度精読しておく。	B
10	総説論文の読み方 ※講師が読み方の解説をします	予習・復習：第11、12回で使用する研究論文を入手しておく。	B
11	研究論文精読⑥（総説論文）	予習・復習：第12回で使用する研究論文を精読しておく。	B
12	研究論文精読⑦（総説論文）	予習・復習：第11、12回で使用した研究論文を再度精読しておく。	B
13	口頭発表の方法 ※講師が発表のお手本を提示します	予習・復習：パワーポイントの使い方を確認しておく。	B, D
14	プレゼンテーションの作成・発表①	予習・復習：口頭発表の準備しておく。	B, D
15	プレゼンテーションの作成・発表①	予習・復習：口頭発表の準備しておく。	B, D

健康栄養学特論

更新日：2025/02/07 10:00:20

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	1B101000	授業コード	
担当教員	森 圭子						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0009	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	多くの栄養情報が日々大量にあふれ、正しく活用することがますます難しくなっている。栄養疫学が果たす役割は大きい。本特論では食生活・栄養による健康への影響を疫学的に明らかにする「栄養疫学」に関する理解を深める。
方法	教科書に基づいて講義を行う。随時グループディスカッションを行う。 多様なテーマについて自ら調べ学んだことを毎回レポートにして提出することを求める。

履修条件

特になし。

履修する上の留意点

毎回レポート課題を提示し、それが提出されない場合は減点します。

到達目標

1	講義内容の正しい理解を基に、他者と討議するために適切な文献を選び説明できる（理解・分析・文献選定のための信頼性の高い情報源の特定、議論と説明能力）
2	意欲・関心・積極性を持ち合わせ、健康と食品・栄養の科学（栄養疫学）に対して多面的にかつ考究できる（批判的思考など学問的成熟、知識の深さ）

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	発表とレポート	70
2	到達目標	講義態度	30

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	わかりやすいEBNと栄養疫学	同文書院	佐々木敏

参考書

オープンな教育リソース

「栄養疫学という科学」 <https://www.igaku-shoin.co.jp/paper/series/169>
「栄養疫学勉強会」 <https://www.bing.com/videos/search?q=%e6%a0%84%e9%a4%8a%e7%96%ab%e5%ad%a6%e5%8b%89%e5%bc%b7%e4%bc%9a&qpvf=%e6%a0%84%e9%a4%8a%e7%96%ab%e5%ad%a6%e5%8b%89%e5%bc%b7%e4%bc%9a&FORM=VDRE>
「東京疫学勉強会」 <https://www.youtube.com/channel/UCiulNwM-6chpNjiWcYaLLCA>

学生へのメッセージ

最近は、「well-being」という言葉なしでは、健康政策・健康増進・健康教育を進めることはできなくなっているが、健康や栄養における疫学への理解と疫学が果たす役割・重要性は増している。しっかり学んで本教科を役立ててほしい。
講義は受講生の関心度によってさらに展開するため、シラバスの順序を変えたり、内容を変更して進むことがある。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートに対しては、次のディスカッションのテーマとしたり、添削およびコメントを付して返却する。

授業計画

	学修計画		
	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	公衆栄養学とは	公衆栄養学に対するイメージを簡単な図や文字で書き出して みる。第1回授業の感想や調べたことを400字以内にまとめ 次回提出。	A, B
2	EBNとは何か、研究の質 トピックス1、高木兼寛の栄養学上の貢献（脚気）	p3-13までを読んで質問を考えてくる。第2回授業の感想を4 00字以内にまとめ次回提出。	
3	ポピュレーションストラテジー、習慣および集積された事実 の重要性、バランスある評価感覚 トピックス2、砂糖と糖尿病	p14-22までを読んで質問を考えてくる。第3回授業の感想や 調べたことを400字以内にまとめ次回提出。	
4	栄養・健康情報の種類と価値、EBN トピックス3、妊娠・出産と骨密度	p25-36までを読んで質問を考えてくる。第4回授業の感想を 400字以内にまとめ次回提出。	A, B
5	栄養・健康情報における科学性と娯楽性 トピックス4、アルコールと血圧、最近のアルコールの考え方	p37-45までを読んで質問を考えてくる。第5回授業の感想や 調べたことを400字以内にまとめ次回提出。	A, B
6	疫学入門（目的） トピックス5、食塩と血圧	p49-50までを説明できるよう読んでくる。第6回授業の感想 を400字以内にまとめ次回提出。	
7	疫学研究の方法（記述疫学研究） トピックス6、葉酸と神経管欠損児	p50-53までを説明できるよう読んでくる。第7回授業の感想 や調べたことを400字以内にまとめ次回提出。	
8	疫学研究の方法（分析疫学研究—生態学的研究、横断研究、 因果の逆転、交絡） トピックス7、葉酸と心筋梗塞死亡率、早食いと肥満度、血圧 と食塩	p54-61までを読んで質問を考えてくる。第8回授業の感想や 調べたことを400字以内にまとめ次回提出。	
9	疫学の手法（分析疫学研究—コホート研究、症例対照研究） トピックス8、肺がんと心筋梗塞、果物摂取量と脳卒中死亡 率、後縦靭帯骨化症と食事など	p62-69までを読んで質問を考えてくる。第9回授業の感想を 400字以内にまとめ次回提出。	A, B
10	疫学の手法（介入研究、RCT、）、集団の代表性、Hillの基準 トピックス9、βカロテンサプリメントと肺がん予防効果	p69-81までを読んで質問を考えてくる。第10回授業の感想や 調べたことを400字以内にまとめ次回提出。	A, B
11	疫学の手法（メタアナリシス） 疫学のための統計学入門 トピックス10、アントシアニンと目の機能	p85-106までを読んで質問を考えてくる。第11回授業の感想 や調べたことを400字以内にまとめ次回提出。	
12	栄養疫学入門、食事調査、調査期間、日間変動、季節間変動 トピックス11、季節煮る体重変動と食事の摂取量の関係	p109-115までを読んで質問を考えてくる。第12回授業の感想 や調べたことを400字以内にまとめ次回提出。	A, B
13	食事記録法と食事思い出し法、食物摂取頻度法と食事歴票 トピックス12、食事調査法は時代とともに変遷するのか？	p116-132までを読んで質問を考えてくる。第13回授業の感想 や調べたことを400字以内にまとめ次回提出。	
14	エネルギー調整、生体指標 トピックス13、エネルギーと他の栄養素の関係、食事療法の 難しさ	p132-145までを読んで質問を考えてくる。第14回授業の感想 や調べたことを400字以内にまとめ次回提出。	A, B
15	食行動・食知識・食の考え方と質問票、変数特性から見た栄 養疫学の特徴 トピックス14、減塩は可能か？	p146-148までを読んで質問を考えてくる。第15回授業の感想 や調べたことを400字以内にまとめ次回提出。	A, B

栄養教育学特論

更新日：2025/02/21 21:28:45

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	1B201800	授業コード	
担当教員	宮澤 洋子						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0039	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	人々の生涯を通した健康維持・増進、疾病予防のための食生活改善の意義や必要性について理解し、生活の質を向上させるための栄養教育の理論と方法について学習する。食行動変容のための行動科学理論や技法、対象者それぞれのライフステージに応じた信頼関係を基礎としたカウンセリングスキル及び教育方法の基礎的知識と技術の習得をする。栄養教育・食育研究を取り上げ、論文抄読・ディスカッションを通じて理論的基礎への理解を深める。
方法	パワーポイントなどの講義とグループワークを組み合わせる授業を進める。ディスカッション、ロールプレイを行い。意見交換を行う。

履修条件

特になし

履修する上の留意点

到達目標

1	栄養教育の理論と方法について説明することができる。
2	基礎的なカウンセリングスキルを修得し、説明することができる。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	レポート	70
2	到達目標	講義態度	30

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	プリント等を配布する		

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	栄養科学ファウンデーションシリーズ 2 応用栄養学 （第4版）	朝倉書店	江上いすず

オープンな教育リソース

学生へのメッセージ

栄養教育の理論を深めその方法を修得するにあたり、積極的な参加を期待します。

課題に対するフィードバック

課題へのコメントやディスカッションを通じて、フィードバックする。

授業計画

	学修計画		
	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	栄養教育の目的、食行動の多様性	①栄養教育の目的について予習しておく ②栄養教育の目的についての課題をまとめ、授業終了後に提	A

		出する	
2	行動科学の理論とモデル	①行動科学の理論について基礎的な内容を予習しておく ②行動科学の理論とモデルについての課題をまとめ、授業終了後に提出する。	A, B
3	行動変容の技法と基本的概念 ＜子ども食堂での食育活動への参加＞	①行動変容の技法と基本的概念について予習しておく ②行動変容の技法と基本的概念から、食育活動を観察して課題をまとめ、授業終了後に提出する。	A, B
4	主な行動変容の技法 ＜子ども食堂での食育活動への参加＞	①主な行動変容の技法について予習しておく ②主な行動変容の技法から、対象者にあった技法をまとめ、授業終了後に提出する。	A, B
5	ライフステージ別の栄養教育の展開 乳幼児期、学童期の栄養教育 栄養教育媒体・指導案作成①	①ライフステージ別の栄養教育の展開 乳幼児期、学童期の栄養教育について予習しておく ②ライフステージ別の栄養教育の展開 乳幼児期、学童期の栄養教育についての課題をまとめ、授業終了後に提出する。	A, B
6	ライフステージ別の栄養教育の展開 乳幼児期、学童期の栄養教育 栄養教育媒体・指導案作成②	①ライフステージ別の栄養教育の展開 乳幼児期、学童期の栄養教育について予習しておく ②栄養教育媒体・指導案をまとめ、授業終了後に提出する。	A, B
7	栄養カウンセリングの基本、構造 ＜児童を対象とした料理コンテストのサポート参加、食育活動の実際＞	①栄養カウンセリングの基本、構造について予習しておく ②児童の特徴や食生活の背景について、観察しまとめ、授業終了後に提出する。	A, B
8	栄養カウンセリング 無条件の受容、信頼関係の構築 ＜児童を対象とした料理コンテストのサポート参加、食育活動の実際＞	①栄養カウンセリング 無条件の受容、信頼関係の構築について予習しておく ②児童への効果的な栄養教育方法についてまとめ、授業終了後に提出する。	A, B
9	栄養カウンセリング 基本的傾聴、要約、明確化、開かれた質問、閉ざされた質問	①栄養カウンセリング 基本的傾聴、要約、明確化、開かれた質問、閉ざされた質問について予習しておく ②栄養カウンセリング 基本的傾聴、要約、明確化、開かれた質問、閉ざされた質問についての課題をまとめ、授業終了後に提出する。	A, B
10	グループ討議 栄養教育媒体・指導案を発表しディスカッションする	①グループ討議について予習しておく ②栄養教育媒体・指導案を発表しディスカッションした内容をまとめ、授業終了後に提出する	A, B
11	栄養教育の実際① ＜子ども食堂での食育講座の実施＞	①栄養教育媒体・指導案を予習しておく ②栄養教育媒体・指導案についての課題をまとめ、授業終了後に提出する。	A, B
12	栄養教育の実際① ＜子ども食堂での食育講座の実施＞	①栄養教育媒体・指導案を予習しておく ②他者の栄養教育媒体・指導案についての評価をまとめ、授業終了後に提出する。	A, B
13	ライフステージ別の栄養教育の展開 妊娠・授乳期の栄養教育	①ライフステージ別の栄養教育の展開 妊娠・授乳期の栄養教育について予習しておく ②ライフステージ別の栄養教育の展開 妊娠・授乳期の栄養教育についての課題をまとめ、授業終了後に提出する。	A, B
14	ライフステージ別の栄養教育の展開 成人期、高齢者の栄養教育	①ライフステージ別の栄養教育の展開 成人期、高齢者の栄養教育について予習しておく ②ライフステージ別の栄養教育の展開 成人期、高齢者の栄養教育についての課題をまとめ、授業終了後に提出する。	A, B
15	総括 自己の栄養教育活動の考察と他者の活動の評価など、ディスカッションを行う	①栄養教育活動についての考察を準備しておく。 ②自己の栄養教育活動と他者の栄養教育活動の評価をまとめ、授業終了後に提出する。	A, B

養護実践学演習

更新日：2025/02/26 17:03:17

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	1B101700	授業コード	
担当教員	森 千鶴						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0012	授業形態	演習	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	養護教諭の職務や養護実践、児童生徒等の健康課題などに関する文献・論文抄読を行う。養護教諭として健康な学校づくりに寄与するための根拠となる知識を集積するとともに研究方法を学ぶ。
方法	文献・論文の抄読、受講者の養護実践を研究的視点で振り返り討議することにより、養護教諭としての研究力・実践力向上に繋がる知識を得る。また、養護教諭観の醸成を図る。

履修条件

養護教諭の職務に関する基礎的な知識・技能を有し、養護実践に関する研究（養護教諭・学校保健・児童生徒等の健康課題など）に関心があること。

履修する上の留意点

養護実践とは、養護教諭が児童生徒等の心身の健康の保持増進、発育発達を支援するために目的をもって意図的計画的に行う教育活動である。授業では養護実践を研究的視点で検討するため、履修に当たっては養護教諭免許状取得者または取得予定者が望ましい。

到達目標

1	養護実践に関する文献・論文抄読に積極的に取り組むことができる。
2	研究的視点で論文抄読を行い、自身の研究活動に生かすことができる。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	レポート・発表・意見交換	50
2	到達目標	レポート・発表・意見交換	50

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	（後日、決定する。）		

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	（随時提示する。）		

オープンな教育リソース

学生へのメッセージ

（抄読について）
・発表者は、論文の構成、記述方法、評価方法、考察、図表について資料作成を行い、他の受講者に説明する。その説明をもとに討議し読み解く。（文献やインターネット等で統計法、用語などを調べ解釈すること）
・抄読する研究論文は原著や研究報告が望ましく、査読がある論文とする。

課題に対するフィードバック

・発表やレポートに対し、教員の意見や補足を加えて理解を深める。
・他の人の発表について意見を出し合い、多様な視点への理解を深める。

授業計画

	学修計画
--	------

	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	オリエンテーション（授業の目標及び概要、授業計画等）	配付資料により、研究活動計画について検討する。	A
2	養護教諭の職制について 養護教諭の職務について	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
3	「養護」の変遷について	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
4	「養護実践」の現状と課題について	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
5	「保健室」の変遷・機能について	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
6	「保健室」の関連法規、経営の課題について	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
7	児童生徒等の健康課題に関する文献抄読と討議①	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
8	職員の健康課題に関する文献抄読と討議②	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
9	研究論文の抄読①（発表者は資料を作成）	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
10	研究論文の抄読②（発表者は資料を作成）	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
11	研究論文の抄読③（発表者は資料を作成）	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
12	研究論文の抄読④（発表者は資料を作成）	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
13	研究論文の抄読⑤（発表者は資料を作成）	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
14	研究論文の抄読⑥（発表者は資料を作成）	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
15	研究論文の抄読⑦（発表者は資料を作成）	予習：前回示した課題についてレポートにまとめる。 復習：学修内容についての自分の考え、疑問点等をレポートにまとめる。	B
16	まとめ		

行動科学特論

更新日：2025/01/24 12:00:19

開講年度	2025	学期	前期, 後期	科目コード	1B201900	授業コード	
担当教員	木戸 盛年						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0040	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	行動科学は人間の行動の予測と制御を目的として人間の行動の原理や法則を究明しようとする、心理学をはじめ様々な学問領域にまたがる科学分野である。この講義では、行動科学の分野の中での応用行動分析に関して、応用行動分析の研究を中心に様々な知見や理論を紹介し、行動科学についての知識を修得してもらう。そして、その知識をもとに自身の研究テーマの行動科学的な意義についての理解を深めてもらう。
方法	各回の講義テーマの内容に基づき作成したパワーポイントを用いた授業を行う。また、講義内では各テーマに関しての議論も行うため、関連する文献や過去研究を事前に各自で調べ理解を深めておくことが望まれる。

履修条件

特に履修条件はありません。

履修する上の留意点

原則、対面授業とします。
各回の講義テーマに関連する文献や過去研究を自分で調べ、内容をまとめ理解しておく事前の準備学習が必要となります。

到達目標

1	行動科学の成り立ち、行動科学の基礎的な研究テーマと高次の研究テーマの内容を理解し説明できる。
2	行動科学に関する文献・論文を調べ、内容を理解し、自分の意見を述べることができる。
3	行動科学的な観点から自身の研究の意義を捉え、学んだ内容を自分の研究に応用できる。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	各講義の事前準備学習の内容/授業態度	30
2	到達目標	各講義の事前準備学習の内容/授業態度	30
3	到達目標	レポート	40

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	はじめての応用行動分析（日本語版）	二瓶社	ポール・A. アルバート / アン・C. トルートマン (著), 佐久間 徹/ 谷 晋二 (監訳)

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	行動分析学入門	産業図書	杉山 尚子, 島宗理, 佐藤方哉, リチャード・W. マロット, アリア・E・マロット
2	行動健康経済学―人はなぜ判断を誤るのか	日本評論社	依田 高典, 西村 周三, 後藤 励

オープンな教育リソース

学生へのメッセージ

この講義に参加し行動科学についての理解を深め知見を得ることで、人の行動を主観的のみならず客観的な視点から分析できるようになります。行動科学の観点から自身の研究を捉え考えられるようになることで、自身の研究の意義がより高まるでしょう。

課題に対するフィードバック

各講義での質疑応答やディスカッションを通して、フィードバックしていく。

授業計画

	学修計画		
	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	導入 行動科学とは	予習：自身の研究の背景・目的・意義をパワーポイント等を使用しプレゼンできるようにしておく。 復習：行動科学とは何なのかを自分の言葉としてまとめ、行動科学の観点から自身の研究の位置づけ・意義を考えてまとめる。	A, B
2	行動論による説明 生理学・発達理論・認知理論との関連	予習：テキスト第1章「応用行動分析の基本的な考え方」を読んでまとめる。 復習：自身の研究テーマと内容に関して、行動論・生理学・発達理論・認知理論からそれぞれ考えてまとめる。	A, B
3	行動科学の成り立ち 行動主義の歴史	予習：行動科学、行動主義の歴史について事前に調べてまとめる。 復習：行動主義の歴史から自身の研究がどのような位置づけ・意義になるか考えてまとめる。	A, B
4	応用行動分析を適応する際の責務	予習：テキスト第2章「応用行動分析を適応するにあたっての責務」を読んでまとめる。 復習：自身の研究に応用行動分析を適応する際、どのような考え、観点から何に注意しなければならないのか考えてまとめる。	A, B
5	行動目標の設定（定義・書式・拡大）	予習：テキスト第3章「行動目標」を読んでまとめる。 復習：自身の研究（修論作成）を進めるにあたり、自身の行動目標を設定し、まとめる。	A, B
6	行動が起こる頻度を増やす操作	予習：テキスト第6章「行動の生起頻度を増大させる随伴性操作」を読んでまとめる。 復習：自身の研究に強化随伴性の考えがどのように応用されるのか、考えてまとめる。	A, B
7	不適切な行動を減らす操作	予習：テキスト第7章「不適切な行動を減少させる結果操作」を読んでまとめる。 復習：自身の研究に分化強化や消去の考えがどのように応用されるのか、考えてまとめる。	A, B
8	刺激統制とシェイピング	予習：テキスト第8章「分化強化：刺激統制とシェイピング」を読んでまとめる。 復習：自身の研究に分化強化やシェイピングの考えがどのように応用されるのか、考えてまとめる。	A, B
9	行動変容の般化	予習：テキスト第9章「行動変容を般化させるために」を読んでまとめる。 復習：自身の研究に般化の考えがどのように応用されるのか、考えてまとめる。	A, B
10	実験デザイン（グループデザイン・一事例実験デザイン）	予習：テキスト第5章「一事例の実験デザイン」を読んでまとめる。 復習：自身の研究を応用行動分析的にとらえた際、どのような実験デザインでデータを収集するのか考えてまとめる。	A, B
11	行動データの収集方法と視覚化	予習：テキスト第4章「データの収集とグラフ化」を読んでまとめる。 復習：自身の研究でデータを収集する際、どのような方法でどのようなデータを収集し視覚化し分析するのか考えてまとめる。	A, B
12	文献購読①：行動科学の研究論文の文献検索	予習：自身の研究テーマと研究目的をもとに、研究分野や研究に関連するキーワードをまとめる。	A, B

		復習：自身の研究テーマに基づき、文献検索した論文を手に入れて読む。	
13	文献購読②：検索した文献を購読しまとめる	予習：読んだ内容を箇条書きなどして論文の内容・構成をまとめてくる。 復習：まとめた内容をもとにプレゼン用のパワーポイントを作成する。	A, B
14	文献購読③：まとめた内容のプレゼンと説明・質疑応答	予習：パワーポイントを用いたプレゼンの練習をしてくる。 復習：プレゼンでの質疑応答の内容・返答をまとめる。	A, B
15	まとめ	予習：これまでの授業や、文献購読にてなされた内容を振り返りまとめておく。 復習：行動科学的な観点から、自分の研究の行動科学的意義を捉え、レポートにまとめる。	A, B

臨床心理学特論

更新日：2025/03/12 00:33:57

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	1B200100	授業コード	
担当教員	堀尾 良弘						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0015	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	有	関連する履歴	法務省の心理技官として、少年に対する心理テスト、心理面接、事例分析を行った経験				
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果	公認心理師・臨床心理士として、心理テスト、心理面接を通じて事例を分析した経験を踏まえ、臨床心理学の実際を伝えることができる。						

授業概要

内容	臨床心理学の基礎理論として（1）心理アセスメント、（2）心理カウンセリングという2つの観点を主に取り上げ、人間理解の方法と心理的支援のあり方について学ぶ。
方法	配布資料とパワーポイント等を用いて講義を行うが、必要に応じて映像資料や臨床事例を活用する。

履修条件

特になし。

履修する上の留意点

授業に関することについて、質問等問合せがある場合はメールでコンタクトを取ってください。メールアドレスは初回授業で提示します。

到達目標

1	現代の様々な心理的諸問題について、臨床心理学の視点から理解し、考察することができる。
2	毎回の授業内容の核となる事柄について、適切にリアクションし、授業中の議論に基づいて自分の見解をまとめることができる。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	討論等への積極的参加	40
2	到達目標	レポート	60

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	テキストは特に指定しない。		

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	心理療法ハンドブック	創元社	乾吉佑・氏原寛・亀口憲治・成田善弘・東山紘久・山中康裕（編）
2	発達のための臨床心理学	保育出版社	小林芳郎
3	臨床心理学, 補訂	有斐閣	丹野義彦・丹野義彦・石垣琢磨・毛利伊吹・佐々木淳・杉山明子

オープンな教育リソース

学生へのメッセージ

臨床心理学、心理テスト、心理カウンセリングとは何か、具体的なイメージを持てるようにし、相手の心に寄り添い、自らをセルフ・モニタリングする姿勢を身に付けていただきたい。

課題に対するフィードバック

授業内で行うディスカッション、質疑応答について、授業内で適宜コメントし、随時フィードバックを行う。

授業計画

	学修計画
--	------

	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	臨床心理学とは何か？ 臨床心理学の基本的な考え方	〔予習〕 臨床心理学とはどのような学問なのか、各自でその概要について調べておく 〔復習〕 授業内容の振り返り	A, B
2	心理アセスメント（1）心理アセスメントとは何か	〔予習〕 心理アセスメントについて調べておく 〔復習〕 授業内容の振り返り	A
3	心理アセスメント（2）心理テスト－質問紙法の実施	〔予習〕 心理テストと心理ゲームの違いについて調べ、そのポイントを押さえておく 〔復習〕 実施した心理テストの結果を見つめ直す	A
4	心理アセスメント（3）心理テスト－質問紙法の分析	〔予習〕 質問紙法の心理テストについて調べておく 〔復習〕 実施した心理テストの結果を見つめ直す	A
5	心理アセスメント（4）心理テスト－投影法の実施	〔予習〕 投影法の心理テストについて調べておく 〔復習〕 実施した心理テストの結果を見つめ直す	A
6	心理アセスメント（5）心理テスト－投影法の分析	〔予習〕 投影法の心理テストについて調べておく 〔復習〕 実施した心理テストの結果を見つめ直す	A
7	心理テストに関連する論文理解	〔予習〕 論文を事前に読んで、疑問点をまとめておく 〔復習〕 疑問点が解決できたか振り返る	A
8	中間のまとめと前半の振り返り	〔予習〕 前半の授業内容を振り返る 〔復習〕 質疑応答を整理する	A, B
9	心理カウンセリングの基礎（1）ロジャーズのクライエント中心療法	〔予習〕 クライエント中心療法について調べておく 〔復習〕 授業内容の振り返り	A
10	心理カウンセリングの基礎（2）ロジャーズ自身が語る（動画視聴）	〔予習〕 クライエント中心療法における「変容」とは何かを調べておく〔復習〕 動画内容のポイントを振り返る	A
11	心理カウンセリングの実際（1）事例Aを通じて	〔予習〕 事例Aについて事前に理解しておく 〔復習〕 授業内容の振り返り	A
12	心理カウンセリングの実際（2）事例Bを通じて	〔予習〕 事例Bについて事前に理解しておく 〔復習〕 授業内容の振り返り	A
13	心理カウンセリングの実際（2）事例Cを通じて	〔予習〕 事例Cについて事前に理解しておく 〔復習〕 授業内容の振り返り	A
14	心理カウンセリングのまとめ	〔予習〕 これまでの授業内容について振り返る 〔復習〕 授業内容の振り返り	A, B
15	全体のまとめと振り返り、質疑応答	〔予習〕 これまでの授業内容について振り返る 〔復習〕 これまでの授業内容を振り返り、最終レポートに備える。	A, B

心理療法特論

更新日：2025/01/14 10:37:10

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	1B200510	授業コード	
担当教員	長岡 由紀子						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0041	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	心理療法は心理専門職により行われるものでありますが、その背景となる知識や考え方は、心理専門職以外の対人援助職にも有用なものとなります。心理専門職のみならず、さまざまな職種で活用できる側面について扱います。
方法	適宜講義を行いながら、ロールプレイや表現活動を用いて、言語レベルからイメージレベルにわたる演習を行います。また、理解を深めるためにディスカッションも行います。

履修条件

履修する上の留意点

到達目標

1	心理療法の定義とモデルを説明できる。
2	自分の中にわいてきたイメージを絵や言葉などで表現することができる。
3	精神分析、分析心理学、箱庭療法について説明できる。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	授業内のディスカッション	30
2	到達目標	授業内で行う演習の成果物	40
3	到達目標	レポート課題	30

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	なし		

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	ユング心理学入門	培風館	河合隼雄
2	モモ	岩波少年文庫	ミヒャエル・エンデ

オープンな教育リソース

必要に応じて紹介します。

学生へのメッセージ

心理療法を学ぶ動機が明確であると、授業への参加や理解がより充実したものになると思います。積極的な参加を期待します。

課題に対するフィードバック

提出されたレポートへのフィードバックは授業内で行います。

授業計画

	学修計画

	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	ガイダンス（授業の進め方と評価方法の説明）、本授業の目的と受講生の関心領域の確認	[予習]心理療法を学ぶ動機について考える。[復習]心理的援助が必要となる状況・領域について理解を深める。	
2	[講義]意識と無意識、心の問題を実践的に捉える考え方	[予習]無意識が成す事象の例を考える。[復習]HowとWhatによる思考の違いについて理解を深める。	
3	[講義]言葉とイメージによる表現の違い	[予習]イメージを日頃どのように利用しているかを考える。 [復習]言葉により限定されているものについて理解を深める。	
4	[ディスカッション]課題の『モモ』（配布資料抜粋）を読んだ感想から、「聴く」ということについて考える。	[予習]配布資料（『モモ』抜粋）を読む。[復習]授業の感想レポートを書く。	C
5	[講義]心理療法のモデル	[予習]心理療法の定義を調べる。[復習]本日の内容を踏まえ、どのように他の現場で活用できるかを考える。	
6	[講義]精神分析理論	[予習]フロイトについて調べる。[復習]本日の内容をノートにまとめる。	
7	[講義]分析心理学	[予習]ユングについて調べる。[復習]本日の内容をノートにまとめる。	
8	[演習]MSSMの実施。	[予習]第3回授業のイメージの話について確認する。[復習]授業の感想レポートを書く。	C
9	[講義]カウンセリングにおける関係性について。	[予習]これまでの演習を参考にして、関係性で生じていることについて考える。[復習]マリオ・ヤコービの「分析的関係」の理解を深める。	
10	[ディスカッション]ここまでの授業の振り返り。	[予習]これまでの授業での疑問点や気づきをまとめる。[復習]授業の感想レポートを書く。	C
11	[講義]箱庭療法	[予習]箱庭療法について調べる。[復習]本日の内容をノートにまとめる。	
12	[事例]箱庭療法の事例を聴く。	[予習]イメージの象徴的意味について調べる。[復習]演習の感想レポートを書く。	
13	[事例]箱庭療法の事例の振り返り。	[予習]授業の感想から疑問点を抽出する。[復習]演習の感想レポートを書く。	A
14	[ディスカッション]ここまでの授業の振り返り。	[予習]これまでの授業での疑問点や気づきをまとめる。[復習]授業の感想レポートを書く。	C
15	まとめ（心理療法の多様性）	[予習]クライアント像を考える。[復習]演習の感想レポートを書く。	

発達心理学特論

更新日：2025/01/28 15:31:41

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	1B200800	授業コード	
担当教員	杉山 佳菜子						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0020	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	ヒトの生涯にわたる心理的な発達について青年期から中高年期を中心に学ぶ。わが国の65歳以上の人口の割合は総人口の25%を超え、世界の先頭を切って「超高齢社会」に突入している。また、若者のメンタルヘルスの問題も大きな問題となっている。このような中で「中高年期」「メンタルヘルス」というキーワードを多面的に理解する事は重要である。また、本講義では心理学を中心に、医学・社会福祉学・生体科学などの観点から「生涯発達」や「加齢」について概説する。						
方法	パワーポイント、プリントを用いて講義を行う。講義の内容についてディスカッションを行い、または小レポートを課し、理解を深める。						

履修条件

なし

履修する上の留意点

課題を提示し、それが提出されない場合は減点します。

到達目標

1	ヒトのライフサイクルを生涯発達という視点でとらえ、加齢にともなうさまざまな変化について理解する。
2	青年期からの中高年者の身体的・精神的発達の特徴を理解し、加齢にともない生じる諸問題について想像できるようになる。
3	各発達段階の課題について理解し、自分ができるサポートについて考える力を身につける。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	小レポート	20
2	到達目標	小レポート	20
3	到達目標	総合レポート	60

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	特になし		

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	特になし		

オープンな教育リソース

学生へのメッセージ

教科書は使用しません。プリント資料を配布します。参考文献は講義内で適宜紹介します。

課題に対するフィードバック

提出された小レポートについては、講義内でコメントしてフィードバックします。

授業計画

	学修計画

	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	オリエンテーション：授業の概要説明	予習：シラバスをよく読んでおく。 復習：講義内容を復習し、与えられたテーマについて予習しておく。	
2	ヒトの生涯発達と発達課題	予習：エリクソンの発達課題について理解する。 復習：「ヒトの生涯発達と発達課題」について概要を整理する。	
3	発達にともなう身体・生理機能の変化	予習：第二次性徴・更年期障害について理解を深める。 復習：「発達にともなう身体・生理機能の変化」について、授業内容を参考に概要をまとめる。	
4	知能と発達	予習：知能とはなにかの説明ができるように理論や研究を調べる。 復習：「発達に伴う知能の変化」について授業内容を参考に概要をまとめる。	
5	発達に伴う記憶の変化：概説	予習：記憶のしくみについて解説できるようにしておく。 復習：「発達に伴う記憶の変化」について、授業内容を参考に概要をまとめる。	
6	成人期以降の記憶の変化：ケース例	予習：認知症のメンタルヘルスについて調べておく。 復習：「成人期以降の記憶の変化」のケース例について、どのような支援ができるのかを考える。	B
7	注意機能の生涯発達	予習： https://youtu.be/VJG698U2Mvo の選択的注意の動画を視聴する。 復習：「注意機能の生涯発達」について、授業内容を参考に概要をまとめる。	
8	言語の発達	予習：ことばの獲得プロセスを理解する。 復習「言語の発達」について、授業内容を参考に概要をまとめる。	
9	親子・家族関係の発達	予習：アタッチメントの発達の影響について理解する。 復習：「親子・家族関係の発達」について、授業内容を参考に概要をまとめる。	
10	社会性と発達	予習：社会性・社会的スキルの定義を理解する。 復習：「社会性と発達」について、授業内容を参考に概要をまとめる。	
11	社会性の発達が阻害された事例	予習：社会性の発達が阻害されるライフイベントについて自分なりの考えをまとめる。 復習：授業で扱ったケース例のディスカッションをもとに、どのような支援ができるのかを考える。	B
12	パーソナリティの発達の变化	予習：気質・性格・パーソナリティの定義を理解する。 復習：「パーソナリティの発達の变化」について、授業内容を参考に概要をまとめる。	
13	高齢者と生きがい：概説	予習：自尊感情の高低が日常生活に及ぼす影響について考える。 復習：「高齢者と生きがい」について、授業内容を参考に概要をまとめる。	
14	高齢者と生きがい：ケース例	予習：高齢者の生きがいとなるライフイベントについて、考えをまとめる。 復習：授業で扱ったケース例のディスカッションをもとに、どのような支援ができるのかを考える。	B
15	まとめ	予習：これまでの講義内容を概観する。 復習：最終レポートにそなえ、本講義全体を通して自分が考えたことを整理する。	

犯罪心理学特論

更新日：2025/02/26 09:32:48

開講年度	2025	学期	前期	科目コード	1B202000	授業コード	
担当教員	廣井 いずみ						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0042	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	有	関連する履歴	家庭裁判所で家庭裁判所調査官として30年ほど勤務し、少年事件のアセスメント、面接に携わった。				
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果	家裁調査官としての経験から、非行少年の捉え方や処遇方法について具体的に説明することができる。						

授業概要

内容	本授業では犯罪について、既に各自が持っている考えを明らかにした上で、どのように犯罪者を理解するのか、犯罪者処遇はどうあるべきかについて、考えを発展させる。
方法	スライドや動画による講義、ディスカッション、事例研究を取り入れて、犯罪理解を深める。

履修条件

履修する上の留意点

到達目標

1	犯罪の原因について、個人及び環境の側面から説明することができる。
2	犯罪の対策について、自分の言葉で述べることができる。

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	レポート	50
2	到達目標	レポート	50

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	永山則夫 封印された鑑定記録	講談社文庫	堀川 恵子

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	犯罪心理学 犯罪の原因をどこに求めるのか	培風館	大淵憲一
2	セカンドチャンス！ 人生が変わった少年院出院者たち	新科学出版社	セカンドチャンス！編

オープンな教育リソース

ノルウェー犯罪学の理論と実践
<https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-2696.html>

学生へのメッセージ

前もって、教科書に指定した「永山則夫 封印された鑑定記録」に目をとおしてきて下さい。

課題に対するフィードバック

討議を通して、随時、フィードバックを行なう。

授業計画

	学修計画		
	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	オリエンテーション 犯罪心理学では何を学ぶのか 統計からみる犯罪	【予習】シラバスで学習内容を確認する。 【復習】本授業で、犯罪心理学のどのような点を深めたいの	A, B

		か、言語化する。	
2	犯罪の生物学的要因	【予習】授業スライドを見ておく。 【復習】発展させたいテーマについて調べる。	A
3	神経発達症と非行① 論文を読む。	【予習】神経発達症について調べる。 【復習】論文を最後まで読む	B
4	神経発達症と非行② 論文をもとに討議する。	【予習】論文の重要と思われる点を書き出す。 【復習】討議結果について振り返る。	B
5	少年鑑別所での仕事から少年理解を深める。	【予習】少年鑑別所について調べる。 【復習】鑑別所での講義を振り返る。	A
6	発達の視点から非行を考える。	【予習】授業スライドを見ておく。 【復習】関心を持った項目について、自身でさらに調べて知識を深める。	A
7	永山則夫の生涯について 家族史、永山の幼少時期	【予習】該当章に目をとおす。 【復習】授業時の討論からの気づきを記録する。	B
8	永山則夫の生涯について 永山の思春期、姉との関係	【予習】該当章に目をとおす。 【復習】授業時の討論からの気づきを記録する。	B
9	永山則夫の生涯について 上京後の生育史	【予習】該当章に目をとおす。 【復習】授業時の討論からの気づきを記録する。	B
10	永山則夫の生涯について なぜ犯行に至ったのか。	【予習】該当章に目をとおす。 【復習】授業時の討論からの気づきを記録する。	B
11	施設処遇について考える ～ノルウェーでの処遇と日本の処遇から～ 刑事処遇のあり方について討議する。 少年院の教育について	【予習】刑務所、受刑者についてイメージを言語化する。 【復習】刑事政策について自身の考えを言語化する。	A, B
12	少年院教育に求められること 論文をもとに討議する。	【予習】少年院の教育についてのスライドを振り返る。 【復習】授業時の討論からの気づきを記録する。	B
13	事例研究	【予習】非行少年についてイメージを言語化する。 【復習】授業時の討論からの気づきを記録する。	B
14	少年院経験者の声から、何が成長を支えるのか考える 『セカンドチャンス！人生が変わった少年院出院者たち』から学ぶ	【予習】少年院経験者が持つ体験や考え方についてのイメージを言語化する。 討議の準備をする。 【復習】授業時の討論からの気づきを記録する。	B
15	1 4 回目までの振り返り 動画ニルス・クリスティ氏の「ノルウェイ犯罪学の理論と実践」を視聴し、犯罪に対する姿勢について討議する	【予習】今までの授業を振り返り、テーマを決めレポート（1000字程度）にまとめる。 【復習】他の受講生の意見を取り入れて、振り返る。	B

キャリア心理学特論

更新日：2025/01/23 11:25:39

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	1B202100	授業コード	
担当教員	金井 篤子						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0043	授業形態	講義	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	キャリアとは何か、人はどのようにキャリアを伸ばすのかなど、特に組織内キャリアに焦点を当てつつ、関連するライフ・キャリアなど生涯にわたるキャリアについて心理学的知見を得る。
方法	講義を中心に行うが、参加者に発言を求めたり、グループでの討議を行ったりすることもある。

履修条件

特になし。

履修する上の留意点

特になし。

到達目標

1	組織内キャリア、ライフ・キャリアについての心理学的知見が理解できる。
2	キャリア研究について関心が持てる

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	リアクションペーパー，最終課題レポート	60
2	到達目標	リアクションペーパー，最終課題レポート	40

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	資料を配布する。		

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	授業中に適宜紹介する。		

オープンな教育リソース

授業の中で適宜紹介する。

学生へのメッセージ

キャリアを学ぶことは自身が生きるといふことや他者を支援する際に重要な視点を提供すると思います。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

課題に対するフィードバック

リアクションペーパーについては、次回の授業においてフィードバックします。

授業計画

	学修計画		
	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	キャリアとは。	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A, B

2	キャリア発達とは，キャリア発達理論	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
3	キャリア初期の心理学	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
4	キャリア中期の心理学	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
5	キャリア後期の心理学	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
6	キャリア・トランジション理論（1）	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
7	キャリア・トランジション理論（2）	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
8	キャリア選択理論（1）	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
9	キャリア選択理論（2）	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
10	キャリア選択理論（3）	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
11	キャリア構築理論	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
12	キャリア・アンカー	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
13	キャリア・パースペクティブ	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
14	キャリア・ストレス	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
15	キャリア・カウンセリングとまとめ	授業後に授業で考えたこと，疑問点などをリアクションペーパーで提出してください。	A,B
16	最終課題レポート		

データサイエンス特論

更新日：2025/01/22 12:25:01

開講年度	2025	学期	後期	科目コード	1B202200	授業コード	
担当教員	姚 静雅						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0044	授業形態	演習	授業時間＋自習時間	30+60		
コース別 必修・選択必修 等	選択必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	無	関連する履歴					
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果							

授業概要

内容	IoTやAI、データサイエンスは第4次産業革命とも呼ばれる技術革新であり、社会を大きく変える可能性を秘めている。中でもデータサイエンスは、単なる情報解析ではなく、様々な社会問題の解決や、新しい価値の創造に資することが期待されている。本科目では、身の回りの課題解決をテーマとして、データサイエンスを実践的に身に着ける。授業内容は基本的に参加者と相談しながら進める。
方法	各回のテーマはパワーポイントを使って授業を行う。基本的に参加者と相談しながら進める。

履修条件

履修する上の留意点

毎回の授業で説明した課題（成果物）が提出されていない場合は減点します。

到達目標

1	社会におけるデータ・AI利活用を理解し説明できる
2	データを正しく利活用するための方法や留意点を理解し説明できる
3	データ処理や統計解析の基本を理解し説明できる
4	日常生活でデータサイエンスの利活用を考えることができる

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	受講態度、成果物	20
2	到達目標	受講態度、成果物	25
3	到達目標	受講態度、成果物	25
4	到達目標	受講態度、成果物	30

教科書

	書籍名	出版社	著者
1	なし		

参考書

	書籍名	出版社	著者
1	データサイエンス講義	オライリージャパン	Rachel Schutt, Cathy O'Neil
2	データサイエンスの基礎	講談社	浜田 悦生
3	絵と図でわかる データサイエンス	技術評論社	上藤 一郎

オープンな教育リソース

リテラシーレベル教材（数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム）、東京大学 数理・情報教育研究センター、http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/6university_consorrtium.html

フリー統計ソフト『HAD』
<https://norimune.net/had>

学生へのメッセージ

文理関係なくデータサイエンスに興味関心を持ち、自ら考えて実践できるようになるよう期待します。

課題に対するフィードバック

- ・自学自習課題について授業内で発表し、学生間や教員との情報や意見の交換をおこなう。
- ・疑問点があれば随時対応する。

授業計画

	学修計画		
	学修内容	学修課題（予習・復習）の内容	アクティブ・ラーニングの実施方法
1	健康社会におけるデータサイエンスの重要性	予習：シラバスを確認する 復習：データサイエンスの重要性を記録する	A, C
2	身の回りの課題の発見	予習：問題と課題の違いを確認する 復習：発見した課題を精査する	A, C
3	研究計画書①	予習：勉強と研究の違いを確認する 復習：研究計画書（仮）を作成する	A, C
4	ビッグデータ	予習：ビッグデータの利活用事例を確認する 復習：要点や気づきを研究計画書に反映させる	A, C
5	IoTとIoB	予習：IoTやIoBの利活用事例を確認する 復習：要点や気づきを研究計画書に反映させる	A, C
6	AI	予習：AIやディープラーニングの利活用事例を確認する 復習：要点や気づきを研究計画書に反映させる	A, C
7	情報倫理、情報セキュリティ	予習：情報倫理やセキュリティを確認する 復習：要点や気づきを研究計画書に反映させる	A, C
8	データを知る	予習：量的データと質的データを確認する 復習：要点や気づきを研究計画書に反映させる	A, C
9	データを読む	予習：集計データのグラフを確認する 復習：要点や気づきを研究計画書に反映させる	A, C
10	データを分類する	予習：分類のための分析手法を確認する 復習：要点や気づきを研究計画書に反映させる	A, C
11	データから予測する	予習：回帰分析を確認する 復習：要点や気づきを研究計画書に反映させる	A, C
12	統計手法の選び方	予習：統計手法を確認する 復習：要点や気づきを研究計画書に反映させる	A, C
13	研究計画書②	予習：研究計画書を仕上げる 復習：報告書（仮）を作成する	A, C
14	課題演習と発表	予習：研究計画書からプレゼン資料を作成する 復習：要点や気づきを研究計画書に反映させる	A, C
15	フィードバックとまとめ	予習：提出した成果物を確認する 復習：提出した成果物を確認する	A, C

研究指導

更新日：2025/01/16 19:29:38

開講年度	2025	学期	通年	科目コード	1C100200	授業コード	
担当教員	松原達昭、長岡由紀子、金井篤子（研究指導補助教員：今澤正彦、山根 基、高瀬慎二）						
備考							
配当	学部/学科	大学院 愛知みずほ大学大学院					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	4	
	備考(配当)						
科目ナンバー	M0029	授業形態	演習	授業時間＋自習時間	180		
コース別 必修・選択必修 等	必修						
本授業科目に関連する実務経験（職歴）の有無	有	関連する履歴	医師				
実務経験と本授業との関係性及び授業にもたらす効果	附属病院を有する医学部や歯学部の教員として大学院生を指導した経験から、人を対象とした研究に関して効果的な指導が可能である。						

概要

研究課題の遂行、および修士論文をまとめるために個別指導を行う。一連のプロセスを通して研究能力を修得する。

指導担当分野

指導方法

必要に応じて、適宜個別指導を実施する。

指導を受けたい学生への期待

学修内容

到達目標

1	研究成果をまとめた修士論文の提出、発表等ができる。
---	---------------------------

評価方法

		評価方法	割合
1	到達目標	提出された修士論文	80
2	到達目標	口述審査における発表	20

課題に対するフィードバック

研究倫理教育（推奨）

卒業論文を履修する者は、以下の受講を推奨します。
独立行政法人日本学術振興会 研究倫理e-ラーニング
https://www.netlearning.co.jp/clients/jsps/reference.aspx